❖平成30年度 市民意識調査結果

住みやすい理由は「買い物や日常生活に便利」

久留米市は、市民の皆さんの市政に関する意向や意識を把握するために、毎年、市民意識調査を行っています。

テーマと調査方法

今年度は、住みやすさなどを尋ねる「行政施策」の他、「インターネット」、「観光」、「環境」、「文化・芸術」、「教育」の6つのテーマについて調べました。調査は、市内に住む18歳以上の2000人を無作為に選び、6月から7月にかけて実施。1758人が回答し、回収率は87・9%でした。

住みやすいが8割

久留米を「住みやすい」と感じる人は全体の82%。6年連続して8割を超えています。理由は「買い物や飲食など日常生活に便利」が1位。「医療や福祉が充実している」、「緑や自然が多い」と続きました。また、77・4%の人が「市に愛着がある」と答えました。

季節を感じるまち

久留米についてどう感じるかを聞いたところ、83・6%が「季節感にあふれている」と回答。65歳以上の人や障害者手帳を持っている人がいる世帯では、「安全で安心して暮らせる」という項目、18歳未満の子どもがいる世帯では「子育てしやすい」という項目を高く評価していました。

まちづくりの基礎に

その他、インターネットの利用状況や1年間で行った文化芸術鑑賞、子どもを取り巻く問題点などについても調査しました。詳しい結果と分析は、報告書にまとめ、まちづくりの基礎データとして活用していきます。

報告書は、本庁舎行政資料コーナーや各総合支所地域振興課、各市民センター、各コミュニティセンターに設置。市ホームページでも見ることができます。

㊐広聴・相談課（☎0942・30・9015、FAX0942・30・9711）

1位 季節感にあふれている 83.6%
2位 子育てしやすい 77%
3位 安全で安心して暮らせる 74.1%

SNS利用者は写真映えスポット推し

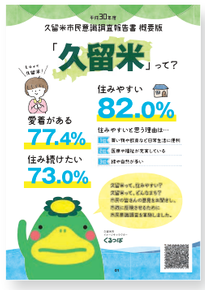
知人に薦めたい観光資源を尋ねたところ、1位は「高良大社」でした。フェイスブックやインスタグラムなどのSNSを利用している人は、「浅井の一本桜」や「酒蔵」、「耳納連山の麓に点在するカフェ」など、SNS映えを意識した写真が撮れる場所を、より薦める傾向がみられました。

眺めの良い高良大社は、SNS利用者にも人気の場所です

久留米市民が知人に薦めたい観光資源

1位 高良大社 32.9%
2位 石橋文化センター 30.3%
3位 福岡県青少年科学館 28.2%

市ホームページ「市民意識調査」へのQRコード



報告書と概要版は4月12日㈮ごろ、各施設に設置します

❖若年末期がんの在宅療養と男性不妊治療をサポート

医療費助成の充実で暮らしに安心を

久留米市は、市民の皆さんが健康に安心して暮らせる環境を目指し、思いやりと育みのあるまちづくりを進めています。平成31年度に新規・拡充する医療費助成制度を紹介します。

若年末期がん患者の自宅療養をサポート

39歳以下の末期がん患者が自宅で療養する時の、介護費用の一部を助成する「若年者の在宅ターミナルケア支援事業」を始めました。

この年代は、介護保険の給付が受けられず、「制度のはざま」に。住み慣れた所で最期の時を過ごしたいのに、経済面で負担を感じる人も居ました。

この制度は、訪問介護を受けたり、介護ベッドや車いすを借りたりする費用に対して、月額6万円を上限に補助。本人が負担する割合は1割で、その分をサービス事業者に払います。

㊐健康推進課（☎0942・30・9729、FAX0942・30・9833）

若年者の在宅ターミナルケア支援

▌対象次を全て満たす人。①39歳以下で久留米市に直近6カ月以上住民登録している　②末期がんの在宅療養で生活支援や介護が必要　③同様のサービスを他の制度で受けられない　**▌利用方法**申請書と主治医の意見書を保健所に提出。利用証が届いたら、市の登録事業者からサービスを受け、料金を支払ってください

男性の不妊治療35万円に助成を拡充

不妊治療を希望する夫婦の経済的な負担を軽減するため、治療費の一部を助成しています。しかし、男性不妊治療の費用は平均約35万円なのに対し、これまでは20万円が上限でした。

そこで、男性不妊治療の初回助成の上限を35万円に拡充しました。この内、5万円は市独自の財源で上乗せしました。4月1日以降に受けた治療が対象です。2回目以降の助成額などに変更はありません。

㊐こども子育てサポートセンター（☎0942・30・9731、FAX0942・30・9718）

男性不妊治療

▌対象治療指定医療機関かそこから紹介された医療機関で行う体外受精か顕微授精の過程で精子を採取する手術　**▌助成額**初回・上限35万円、2回目以降・上限15万円、2回目以降で年度初回・20万円　**▌利用方法**治療を受けた後、申請書や領収書、住民票など必要書類をそろえて、こども子育てサポートセンターへ。必要書類など詳細は市ホームページに掲載

❖アプリ「マチイロ」で広報くるめを配信

紙面そのままスマホに

最新号発行の通知やスクラップ機能も

「広報くるめを、もっと身近に」。久留米市は、いつでもどこでも簡単に見てもらえるよう、スマホアプリ「マチイロ」での配信を始めました。

マチイロは、選んだ広報紙の紙面がそのまま表示されます。発行の通知機能や、スクラップ機能なども備え、さらに、選んだ自治体がホームページなどに載せたお知らせ情報なども入手できます。

操作は簡単。スマホのカメラで、下のQRコードを読み込み、アプリをダウンロードします。希望の自治体や媒体を選び、ダウンロード。一度保存すると、通信せずに読めます。

㊐広報戦略課（☎0942・30・9119、FAX0942・30・9702）

マチイロ

アプリのダウンロードページへのQRコード

バックナンバーとして平成30年度発行号も見られます